

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年7月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900385		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム 千代田の里	ユニット名	たんぽぽ
所在地	〒315-0072 茨城県かすみがうら市東野寺495-1		
自己評価作成日	平成21年12月20日	評価結果 市町村受理日	平成22年7月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年2月25日	評価確定日	平成22年6月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>都市化の進行と、自然豊かな環境とを併せ持つ地域の中で、開設以来7年以上が過ぎ地域の方々 に認識されて来ております。 入所されている、ご家族の皆様にも喜んで頂いている事が励みになっております。 法人傘下には、特別予後老人ホームも多数あり、希望に応じてのサービスを提供できるよう なっておりますし、グループホームも多数あり、お互いに切磋琢磨しサービスの向上を目指して おります。 関連施設には医療法人もあり、医療に対する相談指導を、いつでも受けられる体制にもなっ ております。 特に精神医療の専門医がいますので、専門的な医療相談が受けられます。 隣接地には医療法人の介護老人保健施設や保育園があります。 特に保育園とは定期的に交流が図れるようになっており、お年寄りや園児が和気藹々と過 ごせる事は、まさに家庭の延長のようです。職員の定着率・学習意欲も高く献身的に介護 に努めております。 市内には数多くのグループホームが存在していますが、どの様な入所希望者にも、気軽 に立ちよれ、希望が叶えられる施設にしていきたいと考えております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「人権の尊重、個別ケア、社会交流」を理念に掲げ、管理者、職員共に利用者の個別性を尊重 しながら一人ひとりに寄り添う支援に努めている。 同一法人の保育園の園庭を囲むように3棟の建物が配置され、それぞれが渡り廊下でつな がれ自由に往来できるため、利用者が園児や他ユニット関係者と日常的に交流できる開 放的な環境に努めている。 設置法人が医療機関や福祉施設等を多数経営し、協力関係が築かれているため、利用 者や家族等の安心につながっている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念と、ホーム運営規定を掲げ、実践する為に、利用者がその人らしく暮らしていけるよう、利用者に目を向け、何をすべきかを考え、全員で共有し実行している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関や事務室、各ユニットの壁面に掲示するとともに日常のミーティングや職員会議などで唱和し確認するなど全職員で共有し、実践に向けて取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接する保育園の園児と、月に2回の交流をし、小学校の運動会や文化祭、市の敬老会や地域のお祭りにも参加している。ホームの行事に地域の人々の参加を呼びかけたり、日曜日には道路の清掃活動を行うなど、積極的に地域の方々と交流をしている。	自治会に加入し地域の祭りなどの行事に参加したり、事業所の行事に地域の人々を招待し交流を図っている。 小学校のふれあい祭りに参加したり、中学生の体験学習や踊り、カラオケ、手品などのボランティアを受け入れているほか、隣接している保育園が園庭を開放しているため、そこに訪れる親子連れとの交流がある。 職員は日曜日の朝は事業所周辺道路のゴミ拾いをして、地域の一員として活動している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や介護相談委員を通して、地域の方々の理解を頂きつつあります。介護相談や災害等の支援など事業所として出来る範囲で貢献していきます。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議において、利用者の生活状況や行事の報告をし、委員の方より助言を頂き、サービスの向上に努めている。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、地区長、民生委員、市職員、隣接の保育園園長、事業所職員で6ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の状況や行事、予定などを報告しているほか、委員から出た意見や助言などを事業所の運営に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催することを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じて相談をし、随時連絡を取り合っている。	市担当者とは電話や訪問により密接に連絡を取り合い、日常的に交流している。 事業所の空き情報の提示や生活保護関連の相談などで協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を行い、全職員が正しく理解できるよう努めると共に、ケアの実践に取り組んでいる。	管理者や職員は玄関の施錠を含め身体拘束の弊害を理解しており、手厚い介護により身体拘束をしないケアを実践している。 利用者の外出を察知した場合は職員が同行するなど、利用者の意思を尊重する支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者が安心して生活していただけるように、入浴・トイレ介助時、ボディチェックを行い、注意すると共に、日々虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	まだ不十分ではあるが、勉強し、話し合いの機会を持ち、互いに理解するよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、家族に、利用開始時に重要事項説明書等や口頭で分かり易く説明し、納得の上で契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員会を設け足り、窓口にご意見を頂くコーナーを設置したり、利用者が日頃望んでいる事を引き出せるようにした対応をしています。	利用者からは日常のふれ合いの中から、家族等からは面会時や敬老会、誕生会などの行事時などに意見や要望を聴くように努めているほか、月に1回介護相談員を受け入れている。 出た意見等は全職員で話し合い日常の支援に反映させている。 玄関に意見箱を設置しているが投函の実績はない。 重要事項説明書に事業所や第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関に掲示している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	家族が、ご意見等を気軽に話せて、相談できるようにして、運営に反映させている。	管理者は毎月行われるユニット会議で職員一人ひとりから意見や要望を聞くように努めている。 出た意見等は否定をせず、「まずやってみる」という姿勢で対応し、利用者への支援につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則、給与規定により就業環境の整備に努め、働きやすい職場づくりに努力しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内には、研修委員会が設置されており、それぞれの段階に応じた研修を受講しております。施設内においても随時勉強会を開催し、相互に研鑽に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会の研修会に参加し、他の施設の方々との交流を通じて、研鑽を図り資質の向上を目指しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	受容・傾聴・共感を忘れずに、利用前の面接で把握し出来るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の気持ちを思いやり、これまでの介護に労をねぎらい、利用前の面接に望みます。現状や困りごとの把握に努め、利用者と一緒に施設見学をして頂き不安解消を取り除く機会を設けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時、今何が必要か優先順位を予め決め、必要な事から対応していく。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔からの風習や行事を、日常生活の中に取り入れ、会話の中から教えていただく事・感じる事が多だあり、感謝の気持ちを素直に伝える。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	普段の会話の中で、昔からの風習や行事など利用者から教えてもらう、又、昔話に共感したりしている。利用者と共に協働しながら和やかな生活が送れるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の理解と協力を得て、継続できるように支援している。	親戚や友人との手紙や電話のやりとり、法事、墓参り、家族宅への外泊等を支援して利用者の馴染みの関係の継続に努めている。 利用者へ来客がある場合は居室や玄関脇の談話室など希望の場所に案内してお茶を出し、居心地よく過ごせるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩やクラブ活動を通して、会話しながら、利用者同士が支えあえるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も病院・施設に伺い、関連施設を紹介するなどの支援をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や関わりの中から、思いや意向を把握すると共に、利用者の視点に立って意見を出し合い討議をしている。	管理者や職員は利用者の生活歴を把握するとともに、日常の会話や表情などから思いや意向の把握に努めている。 掃除や食事の手伝いなど利用者の気持ちや能力に合わせて役割を持つよう支援したり、カラオケや書道、雑巾縫い、折り紙など利用者がしたいことをしたい時にできるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前調査をし、病歴や生活歴の把握するために情報の収集をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態を見守りながら、日々を有意義に過ごせるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を開き、利用者家族の意向を踏まえて、職員の意見等を取り入れた介護計画を作成している。作成した介護計画を家族に確認し、同意を頂いている。	介護計画は利用者や家族等の希望を取り入れて3月に1回定期的に作成しているほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、家族等の確認を得ている。 毎月のユニット会議で利用者全員の介護計画をモニタリングし細かい部分の修正をするとともに内容を全職員で共有している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を作成し、心身の状態、行動を記録して、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助等、そのときに応じた多様なサービスに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の機関、例えば、民生委員やボランティア、警察、消防、文化、教育機関などは、必要に応じて協力が得られている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関から、利用者の既往歴等の情報を得ている。本人や家族の希望を聞き、継続した医療が受けられるよう支援している。又、希望に応じて歯科・眼科の訪問診療が受けられる支援体制が出来ている。	月1回法人関連の医療機関への受診を支援しているほか、内科や精神科、泌尿器科、婦人科などのかかりつけ医への通院支援を行っている。 週に1回歯科医の往診を受け入れている。 受診結果はその都度家族等へ報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけの病院・協力病院及び法人傘下事業所の看護師と連携し相談をしたり知識を習得し、日々の健康管理に努めながら、受診や処置の支援を頂いております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはホームでの生活状況を報告し、入院中はまめに様子を伺い、本人、家族、医療機関との話し合いの上で対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人、家族、医療機関関係者を含めて話し合い、方針を決め状態に合わせた対応をしている。	重度化した場合や終末期の方針については、契約時に利用者や家族等に説明しているが明文化するまでには至っていない。	重度化や終末期に向けた方針を再度協議し、関係者間で共有することを期待する。 決定した方針は明文化したうえで、利用者や家族等に説明することが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ほぼ全員が上級救命講習を受け、AEDの取り扱い技能を修得している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の協力を得て消火・避難の訓練を実施している。又、毎月ホーム内で災害を想定した避難訓練を実施している。更に民生委員さんより、地区消防団の協力が得られるように要請してはとの助言を頂いています	消防署立会いの総合訓練と事業所独自の避難訓練を行い、反省点も含めて記録している。 夜間や地震を想定した避難訓練も実施しているほか、缶詰などの食糧や飲料水などを備蓄しているが、地域住民の協力が得られる体制を築くまでには至っていない。	災害時に協力が得られるよう避難訓練に地域住民の参加を呼びかけ、地域との協力体制を築くことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりのペースに合わせた声掛け、傾聴をしている。又、個々の情報の取り扱いには十分に注意している。	職員は利用者をさん付けで呼び、どの利用者にも満遍無く話しかけるよう配慮している。 個人情報を使用する場合は家族等に承諾を得たり、個人用ファイルを事務室内の鍵のかかるロッカーに保管するなど、情報の漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が分かるような話し方をし、思いや希望が叶えられるように支援している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合で行動するのではなく、利用者のペースに合わせた過ごし方を支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい、身だしなみができるよう支援し、地域の出張サービスなどを利用している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を一緒にしながら、食べ方の混乱や食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行っている。又、食事の準備や片付けも行って頂いている。	利用者はおしぼりの準備や下膳、食器拭きなど、できる範囲でできることを手伝っている。 食事が楽しみなものとなるよう弁当を持って筑波山や近隣の公園へ出かけたり、節句や誕生会などの行事に因んだ食事やおやつを提供している。 職員は弁当持参であるが、利用者と同じテーブルを囲んで談笑しながら食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立等は、委託した栄養士により管理されております。医師の指示や、本人の希望も摂り入れた、個々に合わせた形態になっております。摂取量はアセスメントシートに記録しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のうがいを進めている。合わせて入れ歯の方は入れ歯も洗うように声掛けをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録簿やアセスメントシートを活用し、個々の状況把握により、羞恥心に配慮した声掛けや介助を行っております。オムツを利用してもトイレ利用を促し、トイレでの排泄の自立に向けた支援しております。	職員は利用者の生活リズムや排泄パターンを把握したうえでトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けて支援している。 夜間はポータブルトイレを使用したり付き添うなど、なるべくおむつを使用しない支援を心がけている。 失敗した場合は周囲に気付かれないようトイレや風呂場に誘導し、本人の自尊心を傷つけないよう配慮をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の不足に注意し、散歩など通じて身体を動かすように、声かけをしております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日実施し、一人ひとりの希望にあった対応をしています。	職員は風呂を毎日用意し、利用者一人ひとりの希望に応じた入浴を支援している。 柚子や菖蒲、入浴剤などを利用したり、足浴を施すなど、利用者が入浴を楽しめるよう支援している。 入浴を拒む利用者には強要せず、タイミングを見計って再度誘ってみたり、声かけする職員を替える等の工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転しないように注意し、夜間はぐっすり休んで頂けるよう工夫している。一人ひとりの状況に合わせて、安心して気持ちよく過ごせるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が手渡しし、服薬の確認をおこなっています。薬剤情報も確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の出来ること、興味、趣味を活かした支援をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、外気浴を兼ねた散歩も楽しみながら、ドライブ・買物を支援しています。ホームの中だけで過ごさずに積極的に近所に出かけて楽しめるような雰囲気をつくっています。行事での外出は利用者と相談して行っています。	事業所周辺の散歩が日課となっており、車椅子の利用者も職員や他の利用者と一緒に出かけ、四季の変化を肌で感じ取れるよう支援している。 職員は利用者の希望に合わせて近隣の神社や公園への外出、日用品の買い物に同行するなどの支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理の可能な方は、家族の了解のもとに所持され、希望に応じて買物を支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの要請により対応しています。又職員が代行する事もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング兼食堂の大きな窓から、隣接する保育園の園庭で、園児が遊ぶ姿や歌声が聞こえる環境にあり、又、花壇には季節ごとの草花が植栽されております。ゆったりとしたリビングに、写真や利用者のクラブ活動の作品が展示され、和やかな空間をつくるようにしております。	隣接している保育園の園庭を囲むように3ユニットの建物が配置され、どのユニットのリビングからも園児達の遊ぶ姿を見ることができ、利用者の目を楽しませている。 腰高の畳スペースやソファ、椅子等を上手に使い、利用者の居場所づくりをしているほか、玄関脇にはピアノが置かれている談話室があり、来客時や会議で利用するなど、居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話コーナーや、畳のスペースでお話をし、好きな時に部屋に戻り過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具など、好きなものを使用し、飾り付けをし、各々生活しやすい空間造りをしています。	居室は広くベッドでも布団でも利用者の生活スタイルや好みに合わせて使用できる。 テレビや炬燵、テーブル、椅子、家族等の写真、手作りの装飾品、仏壇などが持ち込まれ、利用者が居心地よく暮らせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は、バリアフリーで各所に手すりが設置されております。又利用者一人ひとりが自立した生活ができるよう配慮しております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム千代田の里

作成日 平成22年7月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議2ヶ月に1回開催	推進会議の年間スケジュールを作成し、推進委員の理解を得る	短期間
2	35	災害対策	地域の方の協力が得られるよう、避難訓練の参加要請	地域消防団乃年間活動を把握し、消防団の訓練時に協力要請	年度末前に
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。